

## ストップ！たばこ火災！！

たばこによる火災原因は、その多くが消し忘れなどの不注意から発生しております。

「たばこ」が原因となる火災は毎年、日本国内で多く発生しています。

今年10月に総務省消防庁が発表した「令和2年における火災の状況(確定値)」によると、令和2年中に日本国内で発生した全火災 34,691 件のうち、3,104 件が、「たばこ」が原因の火災となっており、出火原因第1位です。

甲府地区消防本部においても令和2年中に発生した全火災 72 件のうち 5 件が、「たばこ」が原因の火災となっており、「放火」、「放火の疑い」、「たばこ」の順となっています。

### たばこ火災の特徴

- 1 たばこの火は小さいですが、とても温度が高く温度は表面で 200～300 度、中心部では 700～800 度、さらに吸引時には 900 度まで達します。一般的な 100 円ライターの炎が 800～1000 度と言われているので、「たばこ」の燃焼はライターの炎と温度の高さはさほど違いがありません。
- 2 「たばこ」に火を点けても、たばこの葉は炎を上げて燃えることはありません。無炎燃焼(むえんねんしょう)という燃え方をします。炎が立ち上がることなく、高温状態が長時間続き、炎上する特徴があります。炎が見えない状態でも、燃え広がる恐れがありますので注意が必要となります。
- 3 たばこ火災の原因としてよく聞くのは、「寝たばこ」や「たばこの火が点いたままごみ袋に捨てる」などがあります。「たばこ」による火災は、すぐに炎が立ち上がらないという特徴がありますので、火種を落とした時には気付かず、しばらくして炎が立ち上がったときに初めて気づき、発見が遅れる傾向にあります。このように「たばこ」には、炎が見えないのに燃えている、炎が出るまでに時間がかかるため発見が遅れるなどの危険性があります。

喫煙者の方は、燃えやすいものの近くでの喫煙は控えましょう。

また、吸殻の投げ捨ては絶対にやめ、水をかけるなど確実に消火してから処分し、出火防止に十分注意してください。

👉 たばこ火災を防ぐためのワンポイント動画は[こちら](#)からご視聴いただけます。